

平成28年

入学試験を施行

日本歯科大学新聞

東京千代田区富士見
日本歯科大学新聞会
発行兼 中原 泉
編集人
発行日 偶数月末日
定価 1部10円
編集室 (〒951-8580)
新潟市中央区浜浦町1-8
☎ 025 (267) 1500



本学のシンボルマーク



両学部部の合格者発表 東京短大、新潟短大の入学試験も

平成二十八年度の日本歯科大学入学試験は、一月中旬のセンター試験と二月初旬の本学試験をもって東京で施行し、両学部部の合格者を発表した。本年も同一試験日に生命歯学部と新潟生命歯学部との受験と併願が可能となる「全学部入試」を実施した。あわせて、東京短期大学と新潟短期大学の入学試験が行われた。

NDU Open Campus 2016

- 【生命歯学部】午後の部は14:00受付 (②③④)
- ① 7月20日(水)：午前9:45受付 学内見学
午後14:00受付 多摩クリニック見学
 - ② 8月4日(木)：午前9:45受付 入試対策セミナー
 - ③ 8月18日(木)：午前9:45受付 入試対策セミナー
 - ④ 9月10日(土)：午前9:45受付 模擬授業
 - ⑤ 10月9日(日)：午前10:45受付(附属病院牛込ホール)
11:00~13:00病院見学(完全予約制)
 - ⑥ 10月29日(土)：学園祭共催 午前9:45受付
 - ⑦ 10月30日(日)：学園祭共催 午前9:45受付(午前のみ)
- 【新潟生命歯学部】
- ① 6月11日(土)：学園祭共催
 - ② 6月26日(日)
 - ③ 7月9日(土)、④ 7月27日(水)、⑤ 8月9日(火)、⑥ 8月19日(金)
 - 各回とも10:30受付 11:20~16:00

平成二十八年度の入学試験は例年のように、大入試センター利用入学試験と、本学で実施する一般選抜試験の二本立てで行われた。

本学では本年も、同一試験日に両学部部の受験と併願可能な「全学部入試」を一般選抜とセンター利用入試で実施した。

一般選抜入学試験の前期試験は、生命歯学部(東京)において英語一科目、国語・数学のうちから一科目、理科(物理・化学・生物のうちから選択)一科目、計三科目の学力試験、ならびに面接試験を二月一日に実施し、四日に合格者を発表した。

センター利用前期入学試験は、本学が指定した科目(二十七年次から外国語は英語が必須)の受験者に対して、二月五日開始の合図を待つ受験生たち

追って一般選抜後期入学試験(学力・面接)とセンター利用後期入学試験(面接)は、いずれも三月六日に生命歯学部(東京)において「全学部入試」を以て実施し、三月八日に合格者を発表した。

校友会が10月に記念事業

本学は、一九〇七年(明治四十)に、公立私立歯科医学学校指定規則に基づく初めての歯科医学学校として設立された。

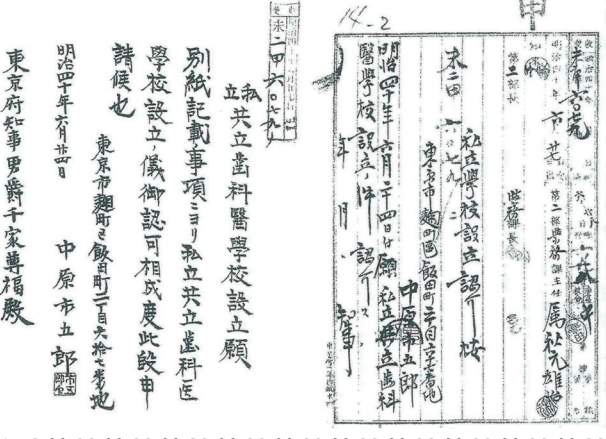
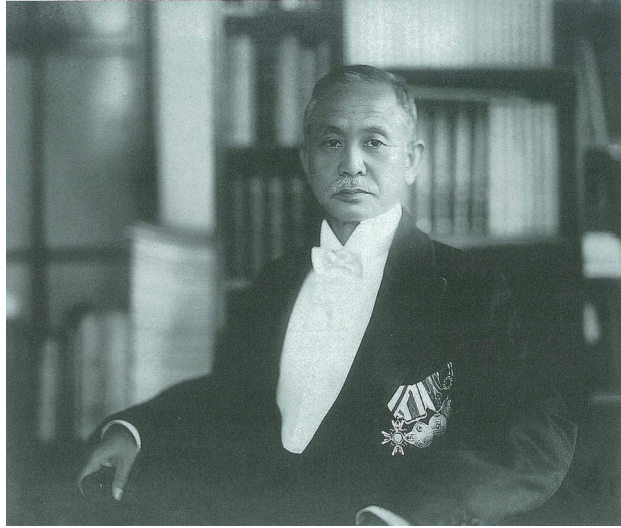
学校法人日本歯科大学では、六月一日に例年通り創立記念式典を挙行する。

本年二〇一六年は創立一一〇周年を迎え、また創立者中原市五郎先生の生誕一五〇年にあたることから、日本歯科大学校友会では、十月二十二日(土)に東京・千代田区の帝国ホテルにおいて記念式典と記念祝賀会を開催する。

なお、本学創立者の自主独立の建学精神に則り、校友会と歯学会では「中原市五郎賞」を創設し、十月の記念式典で授賞式を行う。

(上写真) 創立者中原市五郎先生
(下書面) 本学の前身共立歯科医学学校設立願

日本歯科大学創立110周年 中原市五郎先生生誕150周年



小論文と面接試験を、歯科技工学科の一般C入学試験は、三月二十二日に面接試験を実施した。

新潟短期大学歯科衛生学科では、大学入学入試センター利用入学試験を二月七日に、一般選抜前期入学試験を二月二十七日に実施した。

高橋英登先生(東京都)は、昨年七月に日本歯科医師連盟の会長に就任したが、十一月に開催された臨時評議員会で会長として信任された。

また丸山進一郎先生(東京都)は、本年二月に行われた日本歯科歯科医会長の予備選挙において、代表会員による郵便投票総数二二〇票のうち、七十八票を得て、新会長に内定した。

丸山先生は、全国小児歯科開業医会会長を務める小児歯科専門医で、学校歯科医を三十年以上続け、日学歯の常務理事・専務理事などの要職を歴任している。

卒 高橋先生・日歯連盟会長 66回 丸山先生・日学歯会長に

本学名誉博士で五十四回卒の村上一枝先生が代表を務める、ボランティア団体「カライ西アフリカ農村自立協力会」では、日本国内でもさまざまな支援活動を行っている。

CARAコンサート かけはし スペシャル2016

A VOLUNTEER IN MALI

1 BEFORE YOU READ

KEYS
村上一枝
1989年にマリ共和国に渡り、日本のNGOの活動に参加。その後、日本の支援団体の後を継いで1993年からカラとしての活動を続ける。

WARM UP QUESTION
音声聞いて、地図中のA-Eの中からマリにあたる国を答えなさい。

なかでも毎年冬に開催している恒例のコンサートは、今年で十二回目となる。二月二十八日に東京中央区銀座三丁目の十字

屋ホールで開催された。並木健司氏のギター演奏にのせて、原田康子さんの歌声が響いた。原田さんは、ライブハウスの

「銀巴里」のオーディションに合格し、第一回カンツォーネコンクールに入賞。毎年、マリ共和国農村の女性と子供たち

村上一枝先生のボランティア活動は高校英語教科書の教材となった

高校英語教科書で紹介した村上先生のボランティア活動は、文英堂の文部科学省検定済教科書UNICORN ENGLISH COURSEにも掲載された。同教科書は高校二年生用で、二〇〇四年に発行されている。

予防歯科研究室の設立を望む

終戦後アメリカ歯科学

予防歯科二ユース

米國歯科大学大会で

予防歯科二ユース

米國歯科大学大会で

予防歯科二ユース

米國歯科大学大会で

予防歯科二ユース

米國歯科大学大会で



姉妹校 モンゴル健康科学大学 副学長・歯学部長ら来校



姉妹校 モンゴル健康科学大学の一行が、二月十七日に生命歯学部を訪れた。

来校したのは、同大学の前歯学部部長で、副学長に就任したアマルサイハン(Prof. Bama Tsakhin)教授と、アリュントル(Dr. Arimud)歯学部部長、オトゴンボルド(Dr. Ogonbold)歯科病院長や、研修医と学生たち十七名である。

十七日の朝、飯田橋駅に到着した一行は、生命歯学部キャンパスに中原泉理事長・学長を表敬訪問した。歓談のあと、学生たちは、学生部長の南雲保教授、同副部長の波多野泰夫准教授や本学学生らの案内で、生命歯学部の各施設を見学した。

午後からは、波多野准教授と柳井智恵教授、本学の研修医たちが、附属病院

院内を案内した。モンゴル健康科学大学は、同国唯一の国立医療系大学で一九四二年設立、本学とは二〇〇五年に姉妹校協定を締結した。

(上写真) 中原泉学長(後むき)ら、本学関係者と歓談するモンゴル大の歯学部長(正面中央の女性)たち(下写真) 附属病院で学生

戸谷准教授(新潟県)ベトナムで医療支援

二月十五日の午後六時十五分、新潟県生命歯学部アイヴィホールにおいて、ベトナム医療支援の参加報告会が開催された。「ベトナムベンチエ

授が、昨年十二月二十三日から三十一日まで参加した支援プロジェクトについて報告した。

このプロジェクトは、口唇口蓋裂などの先天的な疾患を有する方々への医療活動、技術指導、学

術調査によって、ベトナムへの援助を行うことを目的に、特定非営利法人日本口唇口蓋裂協会が実施している。

今回のプロジェクトには、日本各地から口唇口蓋裂を専門とする大学関

連の医療機関からボランティアとして、本学を含む九大学の歯科医師、医師、看護師、学生四十八名が参加し、三チームに分かれ四十一例の手術を実施したことなどが、戸谷准教授から報告された。

日本歯科大学新聞 創刊号から

本会では、日本歯科大学創立六十周年を記念して、五十年前の昭和四十一年(一九六六)六月に、『日歯大新聞にみる日本歯科大学の戦後20年』を編集・発行した(下・写真)。一八八号までのダイジェスト版だが、創刊号と二号は散逸し、同版だが、創刊号と二号は散逸し、同記念冊子には収録できなかった。しかし同年の七月、清水静雄教授から本紙の第一号と二号を寄贈いただいた。

女子学生に寄す

(鈴木四郎)

敗戦により従来の封建的産物を破砕し女性に解放の鐘を打ち鳴らすチャンスを与えたものに参政権と男女共学がある。女性が戦い得たりポンでは

予防歯科二ユース

米國歯科大学大会で

予防歯科二ユース

米國歯科大学大会で

予防歯科二ユース

米國歯科大学大会で

予防歯科二ユース

米國歯科大学大会で

本著は日本歯科大学主催の「歯科と認知症」緊急フォーラムを記録した実践の書である。

日本歯科大学 学長 中原 泉

歯科と認知症

～歯科医師の認知症対応力向上にむけて～

道川 誠 名古屋市立大学 大学院医学研究科 教授	平野 浩彦 東京都健康長寿医療センター 研究所 専門副部長
吉岡 裕雄 日本歯科大学新潟病院 訪問歯科口腔ケア科 助教	福井 智子 杉並区歯科保健医療センター 医長
白野 美和 日本歯科大学新潟病院 訪問歯科口腔ケア科 准教授	須田 牧夫 日本歯科大学 講師 口腔リハビリ テーション多摩クリニック 医長

「高齢者の4人に1人が認知症またはその予備軍」といわれる超高齢社会に挑む歯科医師のために。

A4判 / カラー / 112頁
本体 3,500円 + 税

発行元 MEDIA メディア株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-6 NREG 本郷三丁目ビル 8F
TEL 03-5684-2510 (代) FAX 03-5684-2516

日歯大新聞にみる
日本歯科大学の戦後20年
縮刷版
昭和23年～昭和41年

1966年に出版した日本歯科大学新聞ダイジェスト版

1948 4 15 (水) N. D. C. 新開創刊號



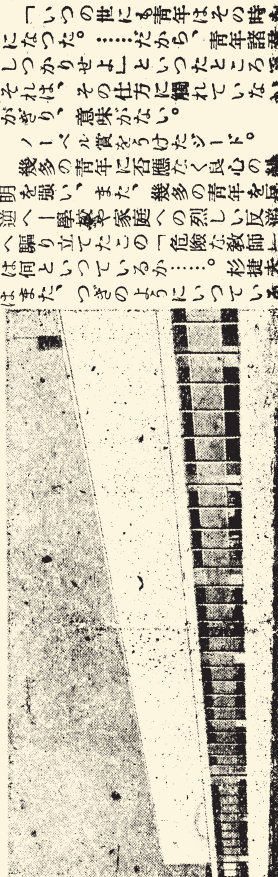
4月25日(日) 1948年 昭和23年 創刊號 創刊 創刊 創刊 創刊 創刊 創刊

主張

ボクダム宣言の履行義務を押しつけても... 歯学は人々の健康を維持し、生活を豊かにするものである。

日本歯科大学学生會

「いつの世にも青年はそのときを逃す...」 青年は時に身を投じて、理想を追求すべきである。歯学教育は、単に知識の伝達だけでなく、人格の形成を目指すべきである。



「先生と生徒」 ビルキョーリが教職につきだてたところ、彼と生徒との間には大きな溝が生じている。先生は知識の伝達者として、生徒は知識の吸収者として、互いに理解を深めなければならない。

「道徳大鼓」 山崎 「「気をつけ」という警告がある。それは「しつかりしろ」ということである。歯学教育は、技術の習得だけでなく、道徳的な素養の涵養を重視すべきである。

「女子学生に寄す」 鈴木 四郎 敗戦により従来の封建的階級が崩壊し、女性に解放の鐘が鳴らされた。女子学生は、その時代にふさわしい生き方を模索し、社会に貢献すべきである。

Advertisement for dental products and services. Includes '田中歯科器械店', '東京中井歯科商店', and '大熊敬清商店'.

Advertisement for Nobel Prize laureates. Lists names like Andre Gide, Albert Szent-Gyorgyi, and Robert Robinson with their achievements.

Advertisement for 'わさび' (Wasabi) by Yamaguchi. Discusses the quality and history of wasabi in Japan.

Advertisement for '道徳大鼓' (Moral Drum) by Yamaguchi. A piece of moral exhortation for students.

Advertisement for '予防歯科研究室' (Preventive Dentistry Research Lab). Details the lab's focus on oral hygiene and prevention.

Advertisement for '予防歯科ニユース' (Preventive Dentistry Youth). Promotes dental health and education for young people.

Advertisement for '綜合的研究の成果' (Results of Comprehensive Research). Lists research findings in biology and dentistry.

Advertisement for '新しき歌' (New Song) by Ishii. A collection of contemporary poems.

Advertisement for '学校ニユース' (School Youth). Provides information about school activities and events.

Advertisement for '書評' (Book Review). Reviews a book on dentistry and education.

Advertisement for '聲' (Voice) by the Editorial Board. A collection of articles and opinions.

Advertisement for '学校ニユース' (School Youth) continued. More news and announcements.

Advertisement for 'H N 歯科研究所' (H N Dental Research Institute). Details research and development in dentistry.

Advertisement for '中野歯科商店' (Nakano Dental Shop). Lists various dental supplies and services.

Advertisement for '吉田歯科商店' (Yoshida Dental Shop). Promotes dental care and products.

Advertisement for '小貫歯科商店' (Kobuchi Dental Shop). Details dental services and products.

Advertisement for 'H N 歯科研究所' (H N Dental Research Institute) continued. More research news.

Advertisement for '泉屋歯科商店' (Izumiya Dental Shop). Promotes dental health and services.

Advertisement for '小貫歯科商店' (Kobuchi Dental Shop) continued. More product information.

Advertisement for '日本歯科用品' (Japanese Dental Supplies). Lists various dental materials and tools.

新たな歯科医療のカタチ

歯髄細胞バンク認定医講習会



本学では昨年七月から十二月まで、受講者を校友会会員に限定した「歯髄細胞バンク認定医講習会」を生命歯学部において開催した。

既報のように、患者の歯髄細胞を保管して将来の病気やケガを自分自身の細胞によって治療するため、そのベース基地として、本学では昨年四月に歯髄細胞バンクを設立した。これはさまざまな細胞に分化できる能力を有する歯髄細胞を、再生医療に活用するための新しい事業である。また、平成二十五年に公布された「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」に基づき、「日本歯科大学」が、抜去歯の処理と送付の技術的などに関する講習会を開催した。豊村助教(NDU生命科学講座)が、抜去歯の処理と送付の技術的などに関する講習会を開催した。豊村助教(NDU生命科学講座)が、抜去歯の処理と送付の技術的などに関する講習会を開催した。

第一期講習会前期は七月八日、十二日、十六日、八月二日の四回、さらに附属病院の牛込ホールで七月九日に、講習会(後期)は十一月二十六日、十二月二日、六日に生命歯学部九段ホールを主会場に開催した。八月二日(日)の第二期講習会は、申込み者が二百名を越えたため、会場を富士見ホールに変更した。講習会は毎回同じ内容で、およそ二時間のプログラムで進んだ。まず発生・再生医学講座の中原貴教授が、歯髄細胞バンクの概要について説明したのち、大山晃弘准教授(NDU生命科学講座)が、抜去歯の処理と送付の技術的などに関する講習会を開催した。豊村助教(NDU生命科学講座)が、抜去歯の処理と送付の技術的などに関する講習会を開催した。



また抜去する前に患者自身に記入してもらう質問票について解説した。この問診票は、日本赤十字社の骨髄バンクで使用している書式を基に歯科の項目を追加している。記入項目に記載された疾患は多岐にわたる。これも歯髄細胞バンクの申込みに必要な手続きとなる。おわりに、中原教授が今まで寄せられている代

表的な質問に関して解説し、毎回の講習会では質疑応答の時間を設けて、参加者からの質問に答え

会場受付には、豊村助教がデモで使用した器具と同様の、抜去歯の保管・移送セットであるス

大山准教授の解説に従って、壇上でデモを行う豊村助教

参加者からの質問に答え

会場受付には、豊村助教がデモで使用した器具と同様の、抜去歯の保管・移送セットであるス

死、徳川慶喜が大政奉還、坂本龍馬が暗殺される幕末最後の動乱の年。▼坪内氏は慶応三年生まれの七人男、夏目漱石、

靖国神社の歴史を描いた名著『靖国』でも有名だ。▼坪内氏は慶応三年生まれの七人男、夏目漱石、

ナリスト、新聞雑誌の収集家として名を残す。熊楠は大英博物館の蔵書を教科書に独学した博覧強記の粘菌学者である。▼著作は、世俗の名利を求めなかった「ツムジ曲がり」七人男たち、明治二十

同じく慶応三年生の中原市五郎先生は、そのころは大英博物館の蔵書を教科書に独学した博覧強記の粘菌学者である。▼著作は、世俗の名利を求めなかった「ツムジ曲がり」七人男たち、明治二十

東京の口腔リハビリテーション多摩クリニックでは、本年二月から往診用車両を配置することになった。今までの訪問診療には、電車やバス、タクシーなどを使っていたが、この往診車の導入で、より効率よく広範囲の活動が可能となった。往診車は八人乗りのワンボックスカーなので、臨床実習生や研修歯科医を同乗させて、訪問診療の実地研修にも利用できる。

小出助教(新潟) 理工学会優秀賞



新潟生命歯学部先端研究センターの小出(風間) 未来助教(歯科理工学講座併任)は、昨年十月に東京江戸川区のタワーホール船堀で開催された平成二十七年秋学期第六十六回日本歯科理工学会学術講演会において、同学会発表優秀賞を受賞した。受賞演題は「プライマリ処理したジルコニアと前装陶材の焼付界面のEPM A分析(第2報)」。

小出助教は、歯科理工学講座の宮川行男教授との共同研究により、昨年四月開催の第六十五回春季学術講演会においてポスター発表した。写真理工学会優秀賞の表彰状を手にする小出助教(左)と宮川教授

UBC・UWへの交換学生

本学では、二〇一六年度(第二十八回)交換学生を北米西海岸のUBCとUWに三月十五日から十九日まで派遣した。交換学生は両学部の五年生六人で、同行教員は生命歯学部歯科補綴学第二講座の新谷明一准教授。

勝海教授(東京) 日本歯科医学協会会長賞受賞

生命歯学部歯科保存学講座の勝海一郎教授は、二月二十四日に開催された第九十四回日本歯科医学協会評議員会で、平成二十七年年度会長賞を受賞した。勝海教授は昭和四十九年本学卒業(第六十三回

新潟の関本、五十嵐教授 歯科医学分会の理事長に

新潟生命歯学部小児歯科学講座の関本恒夫教授は、日本歯科医学分会の理事長に選出された。関本教授は六十四回卒業で、新潟生命歯学部

勝海教授(東京) 日本歯科医学協会会長賞受賞

生命歯学部歯科保存学講座の勝海一郎教授は、二月二十四日に開催された第九十四回日本歯科医学協会評議員会で、平成二十七年年度会長賞を受賞した。勝海教授は昭和四十九年本学卒業(第六十三回

新潟の関本、五十嵐教授 歯科医学分会の理事長に

新潟生命歯学部小児歯科学講座の関本恒夫教授は、日本歯科医学分会の理事長に選出された。関本教授は六十四回卒業で、新潟生命歯学部

勝海教授(東京) 日本歯科医学協会会長賞受賞

生命歯学部歯科保存学講座の勝海一郎教授は、二月二十四日に開催された第九十四回日本歯科医学協会評議員会で、平成二十七年年度会長賞を受賞した。勝海教授は昭和四十九年本学卒業(第六十三回

新潟の関本、五十嵐教授 歯科医学分会の理事長に

新潟生命歯学部小児歯科学講座の関本恒夫教授は、日本歯科医学分会の理事長に選出された。関本教授は六十四回卒業で、新潟生命歯学部

勝海教授(東京) 日本歯科医学協会会長賞受賞

生命歯学部歯科保存学講座の勝海一郎教授は、二月二十四日に開催された第九十四回日本歯科医学協会評議員会で、平成二十七年年度会長賞を受賞した。勝海教授は昭和四十九年本学卒業(第六十三回

平成28年度 歯学会大会のご案内

平成28年度日本歯科大学歯学会総会・大会を以下の通り開催いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

- 日時：平成28年(2016)6月4日(土) 11:00~17:00(予定)
- 会場：生命歯学部 8階富士見ホール 1階メモリアルホール
- ◎メインテーマ

『近未来、歯科はこう変わる? -10年後の歯科臨床を予測する!-』

- ◎公開シンポジウム
- ◆基調講演 「目の前に来た再生医療 歯髄-象牙質再生医療の衝撃! 歯の寿命はあと20年延ばせる!」(仮題) 中島 美砂子(国立長寿医療センター研究所)

- ◆リレー講演
 1. 「2025年を見据えた歯科保健医療サービスの展望 -超高齢化、少子化の影響はどこまで及ぶのか?-」
 2. 「歯周病・再生医療、10年後の臨床を予測する」(仮題)
 3. 「補綴・インプラント療法、10年後の臨床を予測する」(仮題)

●社会情勢の変化、技術の革新は日々スピードを上げ、以前には予想されなかった状況が、歯科の世界にも起きています。日本歯科大学創立110周年の今年、歯学会大会では、これからの歯科医療を大胆に予測してみようと、公開シンポジウムを企画しました。多くの方々のご参加とご討議をお待ちしています。

大会長 岡田 智雄(附属病院総合診療科2)
◎お問合せ 準備委員長 石田 鉄光(附属病院総合診療科4) TEL 03(3261)4751



東京 多摩クリニックに往診車



往診車を前に、左から三代附属病院長、菊谷多摩クリニック院長、中原貴法人理事、羽村生命歯学部長、沼部法人理事

東京の口腔リハビリテーション多摩クリニック(菊谷院長)では、本年二月から往診用車両を配置することになった。今までの訪問診療には、電車やバス、タクシーなどを使っていたが、この往診車の導入で、より効率よく広範囲の活動が可能となった。往診車は八人乗りのワンボックスカーなので、臨床実習生や研修歯科医を同乗させて、訪問診療の実地研修にも利用できる。

慶応三年の生まれ七人の旋毛曲り

坪内祐三 漱石外骨・熊楠・露伴・田露伴、正岡子規、尾崎紅葉、斎藤緑雨をとりあげた。外骨は反骨のジャー

同じく慶応三年生の中原市五郎先生は、そのころは大英博物館の蔵書を教科書に独学した博覧強記の粘菌学者である。▼著作は、世俗の名利を求めなかった「ツムジ曲がり」七人男たち、明治二十